

安くて便利なポートランドの公共交通機関（平成29年6月）

本年8月からの学生派遣研修の開始に先立ち、先般、アメリカ西海岸ポートランド市で様々な準備を行いました。学生は現地に3週間余り滞在することから、自分たちだけでも安全かつ効率的に移動できるよう、公共交通機関の調査もあわせて行いました。

ポートランドでは、郊外と市内を結ぶ全部で5路線ある電車「MAX」（軽量・低床の次世代型LRT）や、路線が縦横に張り巡らされている「乗合バス」は、どちらも1つの公的機関により運行されています。乗車券については、最も安いのが「2.5時間券」の2.5ドルで、「1日券」だと5ドル（約560円）となります。この時間内であれば、どの電車やバスにも何回でも乗れます。また7日券、14日券、30日券があり、30日券は100ドルなので、



かなりの割引率と言えます。こうした乗車券は、MAXの駅や主要バス停で購入でき、現金だけでなくクレジットカードでもOKでとても便利です。更に、主に中心部を循環している3系統の「市内路面電車」（運行主体は別の公的機関）も、この乗車券があれば利用可能です。

特長は幾つかあります。まず運行頻度ですが、電車で15分、バスでもたいてい15分～20分間隔であり、朝夕のラッシュ時は更に短くなります。渋滞対策では、混雑が激しい地区を中心にバス専用レーンもあります。おまけに電車の駅と大きなバス停にはリアルタイムの運行案内表示板があり、何分後に次が来るか分かるので、イライラして待つ必要がありません。各系統の時刻表と路線図は、街中の案内所で入手できるほか、インターネットでも簡単に検索できます。

郊外を中心に、電車駅近くに「トランジット・センター（乗継拠点）」がたくさん設けられており、バス路線が何本もここに入っているため、両者の乗り継ぎが大変スムーズにできます。また、ポートランドは、自転車通勤・通学する人の割合が高いそうですが、自転車と電車・バスがうまく乗り継げるよう、電車は1車両に数台分、バスでは運転席の前に2台分、自転車を乗せるスペースが用意されています。私たちの滞在中にも、電車やバスに自転車を持ち込む人が想像以上に多く、とても驚きました。さらに、市内中心地から電車で30分ほど移動すると、たいていの駅前に自動車の駐車場が現れます。いわゆるパークアンド・ライドで、家から電車の駅まで車で来て電車に乗り換える、という人が多いようでした。

電車の場合、路線数（5本）も駅の数（80余り）もそう多くはないので、目的地までの電車を利用するかは比較的容易に判断できると思われます。では、ポートランドにあ

まり馴染みの無い人が、特定の目的地へ行く際に、どの路線のバスに乗ってどのバス停で降りればよいのかを、どうやって調べればよいでしょうか。バス路線には、1番から順に番号が付けられており、全部で90余りの路線があります。これら全てのバス及び電車の路線を地図上に示した **System Map**(全路線図)がインターネット上で公開されており、それ
でだいたいの見当を付けた後、バス路線毎の詳細地図で最終チェックすることとなります。

この際にとっても助かるのが、ポートランドの住所表示の方法です。日本とは違い、欧米を始め多くの国では、〇〇通りの△番地と表記されます。ポートランドでは、南北方向の道路は、市の中心地から郊外へ向かって、1番街、2番街～というように、原則として数字で表され、遠くなるに従ってその数が増えていきます。一方で、東西に走る道路の場合は、人や土地の名前が付いています。そのため、例えば、「3
1番街と **Burnside Street** の交差点の近く」へ行



きたいのであれば、まず全路線図で、附近を通るバス路線の番号を調べた後に、その路線地図で詳細を確認し、時刻表で乗車時刻と所要時間を調べる、という流れになります。最初は戸惑うかもしれませんが、慣れてしまうと、これがとても面白くて楽しく、目指す路線や時刻にたどり着いた時には、正に爽快な気分になります。

ちなみに、ある日の実績ですが、1日券(約560円)で、バスに5回、電車に5回、路面電車に2回乗ることができ、十分に元が取れました。こうした安くて便利なポートランドの公共交通機関の優れた点を、岡山でもぜひ取り入れて欲しいと思います。